

『シートンどうぶつき』をよんで

ももこ

わたしは、オオカミおうロボのおはなしと、アライグマのウエイアツチャのおはなしが、いちばんころにのこりました。

ロボは、オオカミの、すごいおうさまです。どくいりのにくを見わけることができます。そして、にくの上に、うんこまでしていました。ロボは、ぜんぜんだまされないから、かしこいとおもいました。こんなにロボが、かしこいは、ははおやから、いろんなことをおそわったからかなあと、おもいます。わたしも、かんたんにはだまされないようにしようとおもいます。

アライグマの、ウエイアツチャは、おくびょうな、アライグマです。かわいい、子どものアライグマです。そして、やんちゃな子です。

おかあさんが、「はなれましよう！」といつても、かくれて、はなれないような子です。

ウエイアツチャは、わなにかかってしまい、人げんにかわれました。それから、いたずらばかりしました。まるで、いもうとのようです。そして、かえなくなつたので、また、りょうしのもとへかえされました。それから、かりのれんしゅうにつかわれました。

りょうしが、森へ、本とうのかりへ、いぬをつれていきました。それで、いぬを、ひもでつなぎ、ギユツと、木につなぎました。ウエイアツチャは、はなされて、にげたけど、犬はむすばれていたから、さがすのがおそくなって、ウエイアツチャは、にげることができました。りょうしは、イヌにもんくをいって、かえりましました。

わたしは、ウエイアツチャが、かくれたところか、かしこくて、すごいな、とおもいました。

「シートンどうぶつき」をよんで、わたしは、どうぶつは、すぐくかしこいなあとおもいました。

はじめて、一人で本をよみました。二日でもみおわって、やっぱり、本は、おもしろいから、よめたんだなあとおもいました。これからも、たくさん本をよみたいです。